

# 土浦市新消防署庁舎整備基本構想（案）のパブリック・コメント実施結果について

## 1 実施結果

募集期間	令和5年12月11日（月）から令和6年1月9日（火）
募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土浦市新消防署庁舎整備基本構想（案）を市のホームページに掲載したほか、情報公開室、消防総務課、都和支所、南支所、上大津支所、新治支所、神立出張所、一中地区公民館、二中地区公民館、三中地区公民館、四中地区公民館、上大津公民館、六中地区公民館、都和公民館及び新治地区公民館に設置し、郵送、ファックス、電子メール、持参又はLoGo フォームからの送信のいずれかにより募集を行いました。</li> <li>・パブリック・コメントの意見募集については、市の公式ホームページのほか、広報つちうら、市公式X(旧 Twitter)及びメールマガジンに加えて、市公式LINEを活用して周知を図りました。</li> </ul>
意見提出者数	1人
意見件数	1件
市ホームページ 閲覧数	109件

## 2 提出された意見とその意見に対する考え方

番号	提出された意見	意見に対する考え方
1	<p>○場所の候補地</p> <p>南分署・荒川沖消防署の統廃合により活動範囲の中心に近い土地が望ましいと考えられます。また、市内全域にも最短時間で到着することが可能です。周辺には住宅街がなく、交通アクセスを考慮すると都市計画道路、荒川沖・木田余線と国道125号線の立体交差付近が望ましいと考えられます。</p> <p>風水害や地震などの自然災害に強い庁舎とするには、高台であること、地盤が強固であり気象観測装置を整備するに適している場所として条件をクリア出来ると考えられます。このことにより、右靱地区が適地はないかと考えられます。</p> <p>右靱地区は、市街地以外で現況が山林及び畑であります。このようなことから、適切な分の用地の取得が可能と考えられます。以上のことから、新消防署庁舎を限られた期間に竣工させるには、整備可能地として右靱地区を選定することが、最良ではないかと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、荒川沖消防署と南分署を集約した場合、2署の中間地点付近の市内全域に迅速に出場できる、主要幹線道路沿線が望ましいと考えています。</p> <p>また、緊急車両のサイレン音など、周辺地域への環境にも配慮するため、住宅街を極力避けたエリア及び自然災害に強い庁舎を考えております。</p> <p>候補地の選定にあっては多角的な視点で検討し、いかなる災害にも対応できる防災拠点を建設するために事業を進めてまいります。</p> <p>なお、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>